

島根大学 秋季学位授与式 式辞

本日、ご卒業、修了を迎えられました法文学部、教育学部、人間科学部、総合理工学部、生物資源科学部の卒業生計11名、総合理工学研究科博士後期課程、自然科学研究科博士前期課程、自然科学研究科博士後期課程の修了生計6名の皆様、そして関係者の皆様、ご卒業・修了、おめでとうございます。島根大学の役員、教職員、そして、在学生を代表して心よりお祝い申し上げます。

皆さんは、それぞれの夢や目的、学びに対する高い志と熱意を持って、島根大学に入学され、専門分野に関する高度な知識・技能を修めると共に、深い一般的教養を修得され、学位を授与されることとなりました。

この2年半、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続いており、皆さんの学生生活に大きな影響があったことと思います。本学では、状況に応じて、面接授業とオンライン授業を併用することにより教育を継続してきました。感染拡大予防のため、授業や課外活動等を制限することがあり、皆さんにご不便をおかけしましたことを残念に思います。特に、留学生の皆さんには、予定通りの来日が叶わなかったり、また、来日後は慣れない環境での感染症拡大の事態に不安な思いで毎日を過ごされたりしたことと思います。さらに、祖国におられる家族や友人等も気がかりだったことと推察します。このように厳しい状況の中、皆さん自身の不断の努力により、本日、学位記を授与されるに至りましたことをお慶び申し上げます。

皆さんには、在学中に指導頂きました教員、ともに人生を語り、悩みを相談し、勉学に切磋琢磨してきました友人、そして様々な場でご支援頂きました地域の方々や、皆様のご成長を暖かく見守って下さいましたご家族等、多くの方のご支援、関わりの中で卒業、修了の日を迎えられました。学位が授与されるこの機会に、これまでの島根大学での学びを思い起こし、在学中に知り合った多くの方々に改めて感謝頂ければ幸いです。

さて、図らずもこの度のパンデミックによって、グローバル化、ボーダーレス化が進展した今日では、一地域で起こった現象が瞬く間に全世界に波及することが示されました。一見、私たちと関係なく思える出来事も、わずかな間に私たち自身の問題となり得ます。また、私たちは、エネルギー課題、地球温暖化や海洋汚染等の環境問題、高度情報化社会への変革、そして、世界各地における地政

学的な課題等、地球規模の多様で深刻な課題に直面しています。さらに、SDGs やカーボン・ニュートラルの達成に向けた社会変革が急速に進展しています。これらの課題は広く、深く、互いに複雑に関連し合うことにより、社会の不確実性が高まっています。このような社会情勢の中で、皆さんには新世代をデザイン・構築し、持続可能でより良い社会を実現することが期待されています。複雑、かつ、不確実性の高まる社会で活躍される皆さんには、広い視野と俯瞰力、そして、個々の事象のつながりを見抜く鋭い感性が求められます。確かな自己を確立し、将来をしっかりと見据え、時にはリスクを覚悟して果敢にチャレンジし、強固な意志とグローバルで柔軟な発想力を持って、明るい新世代の構築に向け澁刺とご活躍されることを願っています。

また、どのような状況においても、自身が置かれた環境の中で最善を尽くすことを心がけて下さい。自身の力で変えられない環境もあります。今出来ることを懸命に取り組むことによって道は拓かれます。人生の答えは一つではありません。自ら果敢に切り拓いた道こそが皆さんにとっての正しい解となります。皆さん自身の道を着実に、そして、堂々と歩まれることを願っています。

島根大学は創設以来 73 年の歴史を歩んでまいりました。今日までに 63,000 名余りの同窓生を輩出し、国内そして、世界各地で活躍しています。そして、国内各地の他、海外 6 カ国に本学の同窓会があります。是非、同窓会にご参加頂き、年代を超えた親睦を深め、島根大学のネットワークを様々にご活用下さい。多くの同窓生が皆さんをお待ちしています。

島根はご縁を大切にする土地です。皆さんには、この地で多くの方々と「縁」を結ばれました。その「縁」を今後も大切にし、島根大学や島根県との関わりを持ち続けて頂くよう願っています。さらには、島根大学で学ばれた先輩として、後輩のために本学をさらに盛り上げるようご支援賜れば幸いです。

皆さんの輝かしい前途を祝し、また、これまで皆さんの成長を大きな期待を持って支え見守って下さったご家族、関係者の方々へ改めてお祝い申し上げ、学位授与式の式辞と致します。

令和 4 年 9 月 16 日

国立大学法人島根大学
学長 服部泰直